

令和4年度

北方海域漁場整備可能性調査のうち
現地調査業務

仕 様 書

令和4年8月

一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所

1. 業務名称

令和4年度 北方海域漁場整備可能性調査のうち現地調査業務

2. 業務目的

本業務では、スケトウダラ0歳魚を対象として、深水域における魚礁のある海域とない海域（砂泥帯）の分布状況を調査し、得られた試料を分析することで、漁場整備によるスケトウダラ0歳魚の保護・増殖効果を定量的に把握することを目的とする。

3. 業務場所

本業務では、北海道道東海域に海底地形と水温で区別された4つの調査区が設けられている。令和4年度調査では、この4区のうちA区とB区を調査の対象とする（図1参照）。

4. 契約期間

契約締結の日から令和4年11月30日まで

5. 業務内容

1) 計量魚探調査

- ・現地調査で収集した音響データを専用の音響解析ソフトにより可視化し、低周波数の送受波器で得た魚探信号(単位体積あたりの反射強度)から、スケトウダラ0歳魚等の魚群を判別する。また、解像度の高い高周波数の送受波器で得た魚探信号より、動物プランクトンの空間分布を把握する。

2) プランクトン調査（鉛直曳き）

- ・現地調査で収集した試料36検体（6地点×3層×2回）につき、動物プランクトンの種別個体数を計数する。

3) プランクトン調査（水平曳き）

- ・現地調査で収集した試料24検体（6地点×2層×2回）につき、動物プランクトンの種別個体数を計数する。

4) 水質調査

- ・現地調査で採水した試料18検体（6地点×3層×1回）につき、全窒素、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、全リン、リン酸性リンを分析する。

5) 底質・底生生物調査

- ・現地調査で採水した試料6検体（6地点×1箇所×1回）につき、粒度、COD、全硫化物および強熱減量を分析する。
- ・現地調査で収集した試料の種別の個体数を計数、湿重量を秤量する。

6. 調査結果の報告

受託者は、5の調査結果等を調査報告書にとりまとめる。

7. 企画提案書の提出

本調査の受託を希望するものは、様式2に基づいて企画提案書を作成し、当研究所へ提出するものとする。

① 調査方法の提案

本業務の分析について、具体的な方法を提案すること。

② 類似の業務実績がある場合は記載すること。

③ 業務費限度額

本業務費は、消費税を含めて6,600,000円以内とする。

6. 実施計画書の作成

受託者は、契約後詳細な調査方法等を記載した実施計画書を作成し、当研究所担当者の承諾を得て調査に着手するものとする。

7. その他

- 1) 本仕様書に記載のない事項について疑義が生じた場合は、当研究所担当者との協議するものとする。
- 2) 受託者は、本業務の目的を十分理解し業務を遂行するものとする。
- 3) 本業務で知り得た情報および資料等は外部に漏らしてはならない。

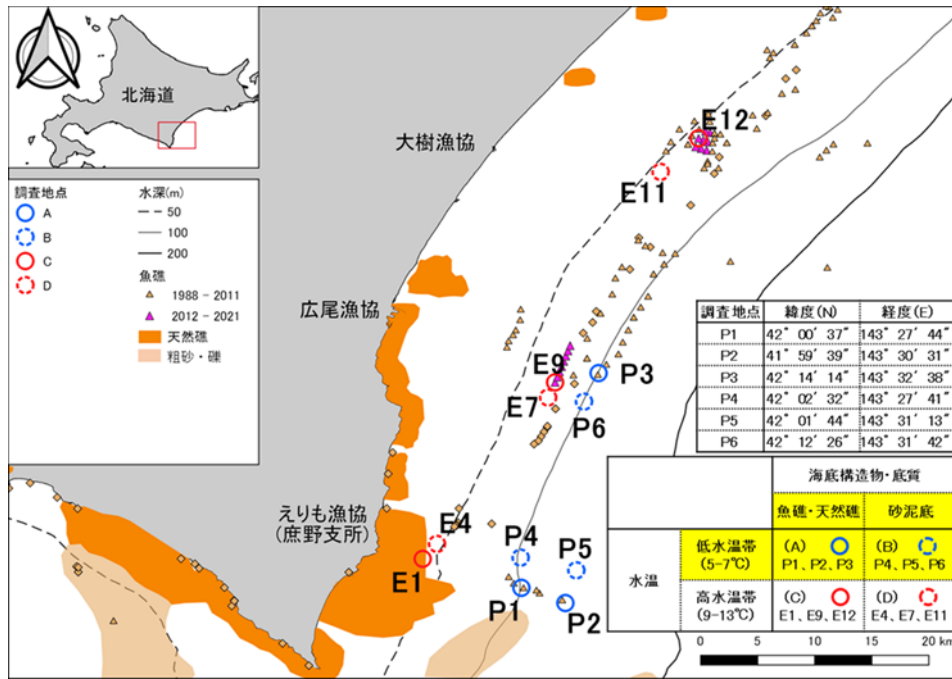


図1 調査海域